

ハローキャリアワーク通信

11月25日（土曜日）に、株式会社「伊佐ホームズ」様からの依頼があった『「森を守るために何ができるか』を一緒に考えてもらえませんか?』が、応募のあった15名から、当日の欠席もあり9名となりましたが、伊佐ホームズ駒沢住宅・ギャラリー櫟・素材館「校倉」で行われました。

当日、伊佐ホームズ様のご厚意により、引率された保護者の方で、時間に余裕のある方も一緒に参観できることになり、和やかな雰囲気にもまれ、楽しい時間が過ぎました。



初めに、教育委員会の担当者から本日の予定の説明を行い、伊佐ホームズの小柳様から、伊佐ホームズの取組と、日本の木造住宅について、概要や、くぎを使わない木組み



の展示物などの

説明をしていただきました。住宅のそれぞれの部分に使われる木材の種類（広葉樹のナラやクヌギ、針葉樹の松、杉）、木の固さなど柱や、床、障子の枠、床の間に使われる木などについても教えていただきました。その後、駒沢住宅ギャラリーなどの室内や素材館の様子を見学しました。



見学後、休憩を挟んで、いよいよ「森を守る」ことの重要性、私たちにできることにつながる話を小柳様からお話しいただきました。

初めは、木製の「製品」（スプーン）の感触を金属などの違いからこれまでの各自の思いを意識させ、「なぜ、森林を守る

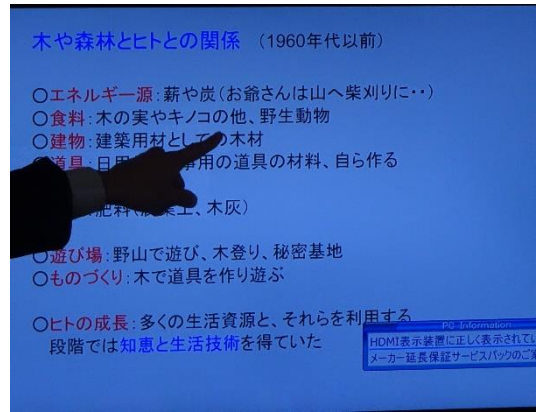
必要がある」のかについて、「地球温暖」の説明から進められました。



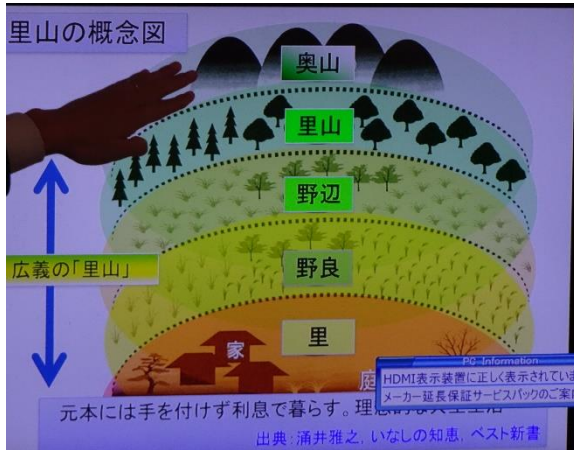
2100年の天気予報の映像や、その現象から引き込まれる「災害」の予想（現在でもある）などから森林の果たしてきた役割と現在重要な「SDGs」へと話を進めました。



このように「日本の森林を持続可能な形で活用する」必要性が、今の社会（世界に）出てきているとのことでした。それまでの1960年代以前には、右図のような関係で人々の生活が行われてきましたが、生活が豊かになり

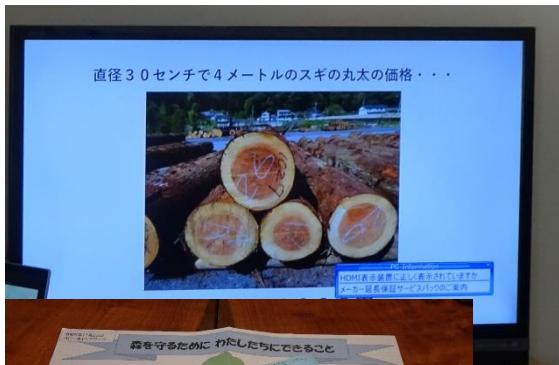


産業・経済などの発展により自然環境に大きな変化が見られるようになってきたとのことです。下図の里山の概念が崩れ、動



植物に大きな変化をもたらししています（各地でクマの出現、被害報道が多い）この自然環境の維持・改善を進めないと、先ほどの疑似ニュースのような状況が起きてしまいますので、みなさんにできることを考えて欲しいとのことでした。また、木の特性として、保湿効果（温もり）、熱伝導のしにくさなど人にとって生活の中の優しさなどがあることも教わりました。しかし、木材の現状は、育成するのに60年間程度かかるが、その製品としての価値は、画面のように直径30cm、長さ4mで3000~4000円程度とのことです。さらに、土砂災害の仕組みなども説明され

られ、森の管理の重要性も話されました。この後、2つのグループに分かれワークショップを行いました。大きなテーマは「森を守るために私たちにできること」で、最初に各自で考えて思ったことを付箋紙に書き出し、「木の絵」が描かれた用紙にそれぞれ張り付け、グループ内で一番いいと思われるものを話し合いで選び



発表しました。



2つのグループが、まとめ考えた内容は「森を管理する」「生き物を増やす」もう一つのグループは「新しい木を植える」

「管理する」でした。



共に、「森の管理」の大切さを考えましたが、今は実現することは難しいですが、この意識が生まれたことは、素晴らしいことと思います。また、「生き物を増やす」は里山の重要性、「新しい木を植える」は、老木が二酸化炭素を増やしてしまうこと、根の張りが弱くなり、山の斜面を支えきれなく、土砂災害の危険につながることから考えたようです。この中から、「新しい木を植える」ことを目指すために「クヌギ」の実（どんぐり）を牛乳パックに植えることを行い、各家庭で発芽まで世話

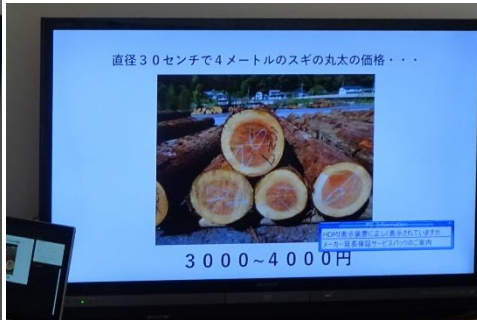
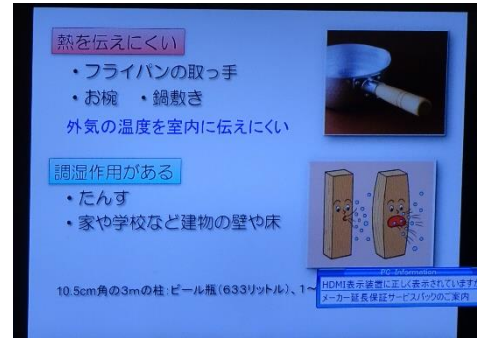
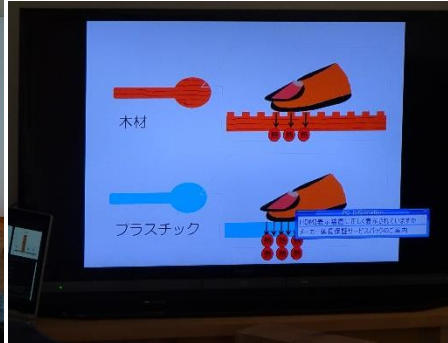
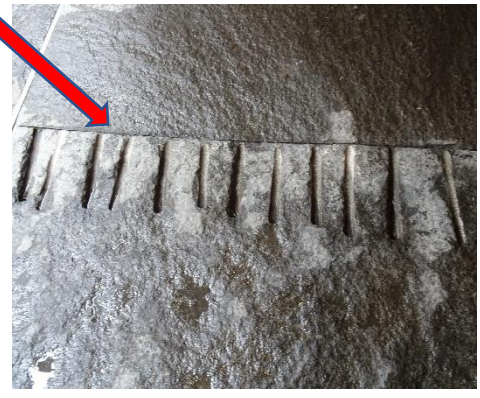


また、「生き物を増やす」は里山の重要性、「新しい木を植える」は、老木が二酸化炭素を増やしてしまうこと、根の張りが弱くなり、山の斜面を支えきれなく、土砂災害の危険につながることから考えたようです。この中から、「新しい木を植える」ことを目指すために「クヌギ」の実（どんぐり）を牛乳パックに植えることを行い、各家庭で発芽まで世話

をすること（少し期間が長い）にしました。教育委員会の担当者から、発芽したら連絡してほしいことと、その植樹についての説明も行われました。以下当日の記録です。

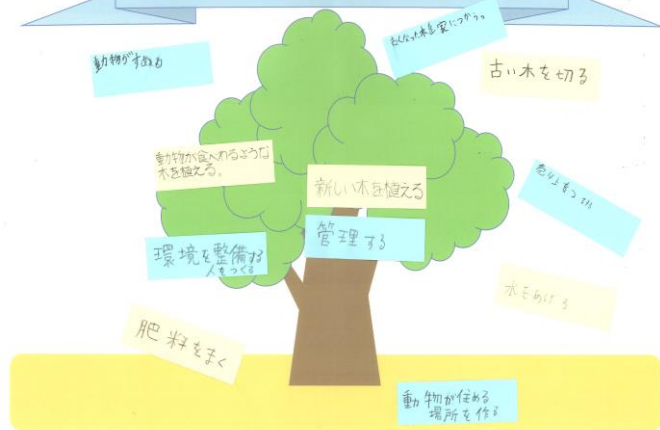
施設見学

（この溝は、岩を割ったときに食い込ませた木の後）



令和5年11月25日
ハローキャリアワーク

森を守るために わたしたちにできること



令和5年11月25日
ハローキャリアワーク

森を守るために わたしたちにできること



特殊な機械で制作された「木の玉子」をプレゼントとしていただきました。

「木製の玉子」

(振り返りシートに記入)